

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 自然環境課長 齋藤 晃大 電話番号 0852-22-5346

事務事業の名称	自然保護のための情報収集・整理事業	
目的	(1) 対象	県内の自然情報
	(2) 意図	自然保護に関する情報を収集、整理し、保護対策の資料とする。
事業概要	希少野生動植物のデータベースの充実を図るため、自然保護に関する各種情報について、収集・整理し、データ入力を行う。	

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度					単位	
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
情報収集した項目数（文献・連絡情報・調査情報・開発協議等）	指標名	情報収集した項目数（文献・連絡情報・調査情報・開発協議等）	目標値	40.00	40.00	40.00	40.00	項目	
	式・定義	情報収集した項目数（文献・連絡情報・調査情報・開発協議等）	実績値	90.00	85.00	41.00	238.00		
	達成率			212.50	102.50	595.00		%	
指標名	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義		目標値	0.00	0.00				
	達成率		実績値	0.00	0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	563	3,520
うち一般財源(千円)	563	3,520

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

当該年度に明らかになった希少野生動植物の生息、生育情報について毎年追加しデータベースの更新を行っており、開発事業者等からの問い合わせ（事業区域内におけるの貴重野生動植物の生息・生育の有無や影響の回避低減について）に対する適確な対応を可能にしている。  
H26年度は238種の情報の登録を実施した。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

希少野生動植物の生息・生育情報については目標値以上の収集、整理をすることができた。  
GISの更新に伴い、新システムへの移行を実施した。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

希少野生動植物の生息、生育環境は、時間の経過による自然の変遷や改変などによって変化しているため、情報の収集を継続していくことが必要

### ②困っている状況が発生している「原因」

希少動植物の情報は、大学、研究機関、民間研究者等のさまざまな主体に蓄積されており、それらの情報が県において収集することが必要

### ③原因を解消するための「課題」

島根大学、研究機関（三瓶自然館、宍道湖自然館、ホシザキ野生生物研究所等）、NPO等と連携の強化

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

開発事業者等に対して、適確に生息・生育情報を伝えることができるように、既存の情報についても定期的にモニタリング調査を行い、その結果を保存データに反映させなければならないことから、研究機関等と連携を強化しながら情報収集をする必要がある。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）